



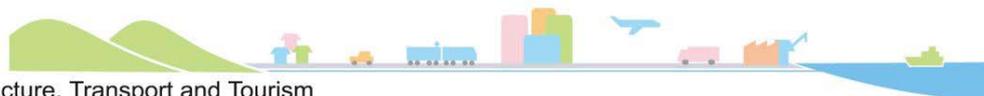
平成30年10月24日

中部地方整備局

名古屋港湾空港技術調査事務所

「第19回 民間技術交流会」を開催します！ — 材料・維持点検の最新技術を紹介 —

- 概要** 民間技術交流会は、「民間技術を管内の港湾整備に有効活用するための情報収集」、「民間等における技術開発の現状と動向の把握」および「官民の情報共有」を目的として開催しています。第19回目となる今回は、最近の港湾分野で課題となっている材料・維持点検の最新技術を5件紹介していただくプログラムで開催いたします。
なお、開催方法につきましては、今年度より、整備局及び港湾管理者の職員に加え、広く建設関係の技術者の聴講も募集し、様々な職種の方々に最新技術を紹介できるようにしています。
- 日時** 平成30年11月7日(水) 13時15分～16時20分
- 場所** TKP 名駅桜通口カンファレンスセンター 3階ホール3D
〒450-0002 名古屋市中村区名駅3丁目13-5 名古屋ダイヤビル3号館
- 資料** 次第、発表技術の概要、会場周辺案内図
- その他** ①本プログラムは、CPDS(継続学習制度)認定講習会です。
(CPDS 3ユニット付与)
②記者席を設けております。
(入退場・写真撮影自由)
- 配布先** 中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、名古屋港記者クラブ、
港湾空港タイムス、港湾新聞、日本海事新聞、海事プレス、
マリタイムデーリーニュース
- 問合せ先** 中部地方整備局 名古屋港湾空港技術調査事務所
技術開発課 村上(むらかみ)、高須(たかす)
連絡先：TEL 052-612-9984 FAX 052-612-9477



第 19 回 民間技術交流会

日時：平成30年11月7日（水）

13：15～16：20

場所：TKP 名駅桜通口カファレンスセンター

主催：国土交通省 中部地方整備局

名古屋港湾空港技術調査事務所

次 第

1. 開会

2. 主催者挨拶 名古屋港湾空港技術調査事務所長

3. 技術発表 (5題)

① 海岸浸食対策(サトハック)用袋材 シーガーディアン【前田工織(株)】

② AAP膨張アンカー【(株)豊和】

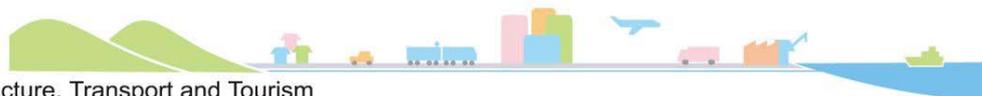
③ SLJスラブ【オリエンタル白石(株)】

休憩

④ イージーマモニター【(株)ニューテック康和】

⑤ 水中点検フロートロボット【朝日航洋(株)】

4. 閉会



【発表技術の概要】

	発表技術	発表者	技術概要
1	海岸侵食対策(サンドバック)用袋材シーガーディアン	前田工織(株)	現地砂や浚渫砂を入れたチューブ状の砂袋を、浜崖対策や突堤など海岸保全施設に用いる技術である。砂袋の素材は高強度ポリエステル織布に人工芝を取り付けたもので、耐摩耗性、耐候性に優れている。景観性や環境性に優れ、従来のコンクリート構造物での整備が難しい砂浜に適している。
2	AAP膨張アンカー	(株)豊和	AAP膨張アンカーをコンクリートに穿孔した孔に挿入するだけで、初期耐力を発揮する過去にない機構を有した高強度の金属系あと施工アンカーです。また、金属系でありながら接着系アンカーと同等の耐力を発揮することができます。
3	SLJスラブ	オリエンタル白石(株)	従来、ジャケット式栈橋などの港湾栈橋にプレキャスト床版を用いる場合、プレキャスト床版同士の接合部には、ループ継手または重ね継手が用いられていた。この工法は、プレキャスト床版の接合部にエンドバンド継手を用いることで、継手部の施工性が向上し、床版厚を薄くできる技術である。
4	イージーMモニター	(株)ニューテック康和	コンクリート構造物の電気防食工法における防食状態の確認を、従来は現地点検で行っていたものから、モバイル型遠隔監視システムを用いた方法に改善した。
5	水中心検フオートロボット	朝日航洋(株)	自動航行機能を有する遠隔操作式フロート型ロボットにナローマルチビーム式音響測深機・ビデオカメラを搭載し、海底および水中構造物を計測する技術である。遠隔操作により船上作業なく計測が可能となり、安全性の向上および省人化による経済性の向上が期待できる。



【会場周辺案内図】



出展：TKP 名駅桜通口カンファレンスセンターHP